

1. 肺気量分画の図を作成し、下記の名称（4つの肺気量、4つの volume、4つの capacity）がどこか分かるように記載してください

●4つの肺気量位

- ・(安静吸気位)：通常の安静呼吸時の吸気終末の位置
- ・(安静呼気位)：通常の安静呼吸時の呼気終末の位置
- ・(最大吸気位)：最大吸気時の吸気終末の位置
- ・(最大呼気位)：最大呼気時の呼気終末の位置

4つの肺気量位をもとに4つの volume とそれらの和によって構成される4つの capacity がある

●4つの volume

- ・(一回換気量)：安静呼吸時の換気量
- ・(予備吸気量)：安静吸気位から最大吸気位まで吸うことができる量
- ・(予備呼気量)：安静呼気位から最大呼気位まで吐くことができる量
- ・(残気量)：最大呼気位後もさらに肺に残っているガスの量

●4つの capacity

- ・(肺活量)：一回換気量 + 予備吸気量 + 予備呼気量
- ・(全肺気量)：一回換気量 + 予備吸気量 + 予備呼気量 + 残気量
- ・(最大吸気量)：予備吸気量 + 一回換気量
- ・(機能的残気量)：予備呼気量 + 残気量

【解答欄】

2. 排痰手技の手順を説明してください

- ① () で痰の溜まっている部位を特定する
- ②痰が溜まっている肺区域が高い位置にくるような体位をとり、() を利用して痰を肺区域から中枢気道へ誘導する
- ③1つの姿勢の目安時間は() ～ () 分
- ④() だけでは痰の移動がない場合、() を行う
- ⑤痰の中枢気道への移動が確認できれば咳嗽もしくは吸引で除去する

・スクイーミングで痰が移動するメカニズムについて説明をしてください

【解答欄】

・咳嗽に必要な要素について説明をしてください

【解答欄】

3. 末梢動脈疾患と脊柱管狭窄症の鑑別表を完成させてください

	末梢動脈疾患 (ASO)	脊柱管狭窄症
安静時下肢疼痛		
歩行時下肢疼痛		
姿勢と症状		
腰痛		
自転車乗車時の疼痛		
しびれ感		
下肢の動脈拍動		
脈波・皮膚温の左右差		
腰部 X 線画像		

4. Forrester の分類の図の空欄を埋めてください。

また、II群、III群、IV群の状態について説明をしてください

心 拍 出 係 数	I 群 症状：正常 治療方針：経過観察 合併症の予防・治療	II 群 症状：() 治療方針：() ()
	III 群 症状：() 治療方針：()	IV 群 症状：() () 治療方針：() () ()、()

肺動脈楔入圧

・ II 群

【解答欄】

・ III 群

【解答欄】

・ IV 群

【解答欄】